

【小林市立紙屋中学校】

1 活動の概要

- 生徒会を中心に、学校と家庭でできる4R活動を考え実践した。
- 地域美化活動や学校行事、教科における4R活動の推進を図った。

2 SDGsの視点:「4 質の高い教育をみんなに」「11 住み続けられるまちづくりを」

「12 つくる責任 つかう責任」「17 パートナースhipで目標を達成しよう」

事業の実施時期：補助を受けた日から令和7年2月28日

1 学校の概要

本校は、「自己を鍛え、心豊かで、自信をもって行動する生徒の育成」を教育目標に掲げ、主体的に考え行動できる生徒の育成を日々目指している。各学年1学級で全校生徒数は38名と小規模校ではあるが、校区内には豊かな自然と高妻神社があり、大祭で奉納する城攻め踊りを小学校の頃から中学校まで練習して伝統芸能を継承している。

SDGsの取組は、昨年度から本格的に始めており、昨年度は講師を招きワークショップを実施することでSDGsとは何かを学び、その必要性を感じることができた。今年度は、実際に生徒会を中心にして、学校でできることや、個人でできることを皆で考え、4R活動を実践していくことにした。

2 活動のねらい

特別な取組をイベント的に実施するのではなく、今後も持続可能な取組を意識し、これまでにやってきた地域の美化活動や生徒会活動、学校行事をSDGsの目標に結びつけながら4R活動の推進を図り、環境を守り維持していこうとする生徒の育成を目指した。

3 活動内容

(1) 地域美化活動

7月に1年生が、「紙屋一徳会」（まちづくり協議会）と協力して地域の国道に面した花壇に植栽を行った。また、花壇までの道のりではゴミ拾いを実施し、分別作業まで行った。



11月には、高妻神社大祭へ向けて、1年生と3年生が、神社の境内、神殿、トイレの清掃を行った。神社に向かう道中では、2グループに分かれてゴミ拾いを行った。



(2) 生徒会活動

生徒総会の議題の一つに、学校で取り組める4R活動を取り入れ、4つの委員会で活動できることを話し合い実践した。紙屋中学校では、火曜日の校時程を工夫して「紙屋タイ

ム」と名付け、集会や委員会活動を20分間行っている。各委員会の4R活動をこの「紙屋タイム」で準備や実践をしてきた。4つの委員会の活動は以下の通りである。

【中央委員会】…学校周辺のゴミ拾い

校外行事への移動時に、学校周辺のゴミ拾いを実施した。

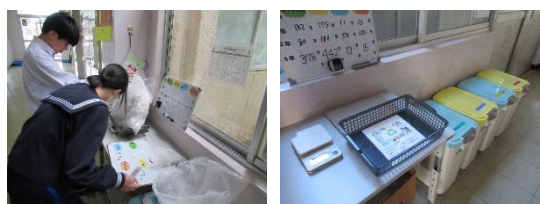
【学習文化委員会】…紙の再利用

学校内の印刷物で裏が使える用紙を集め、裁断して学習文化委員会の活動の1つである小テスト実施時に利用できるようにした。



【生活保体委員会】…学級のゴミの計量

ゴミの分別はしっかりとできているが、ゴミの量を減らそうと、毎週金曜日に分別したゴミを測定し、集積所のボードと教室のボードに測定結果を記入した。



【図書委員会】…ポスター作成

フードロスやゴミの減量化について調べ、タブレットを活用してポスターを作成し掲示した。

他にも、毎週水曜日は放課後の10分から15分を花壇活動の時間として設定し、生活保体委員会を中心に、学級花壇、校内の花壇の他、一人一鉢の水やりや草抜きを実施した。朝のボランティア活動もあわせて、美化活動に一生懸命に取り組む姿が見られた。



(3) 個人でできる4R活動

5月の連休課題として、これまでに学校や個人で取り組める4R活動について考えたことや調べたこと、既に実践していることをプレゼンテーションにまとめさせた。

夏休みの課題として、個人でできる4R活動を実践し、同じくプレゼンテーションにまとめさせ、各学級で実践発表会を実施し、各学級の代表者に文化発表会で発表してもらった。無理なく実践できることや、再利用して新たな物を生み出す工夫が見られ、生徒たちの実践意欲をかきたてるものになった。



冬休みには、生徒会から、①SDGs スタートブックを読もう②「SDGs」または「新年」をお題にして俳句・短歌・作文を書いて新聞に投稿しようという課題が出され、全員が積極的に取り組んでいた。

(4) 学校行事とからめたSDGsの学び

小学校と連携して小学5年生と中学生全員による田植え、稲刈りを実施した。中学生は12月に餅つきをして、わらでしめ縄作りを行い、稲作が循環して環境を守っていることを学んだ。



11月には、高岡にある企業「宮崎日機装」を見学し、CO₂排出を少なくするために燃費を良くする部品の開発などに取り組んでいることを学ぶことができた。



(5) 教科と連携したSDGsの学び

家庭科の授業で、制服会社KANKOが実施している制服の廃材を利用した『学校に「エコフラワー」を咲かせるプロジェクト』に参加し、1・2年生が作ったエコフラワーを文化発表会で展示した。



また、2年生の持続可能な社会の学習で、地元の「小林の環境を守る会」の方に来ていただき、脱プラスチックを目的に蜜蝋を使った「みつろうラップ」を作成した。廃棄されたプラスチックが分解されるまでに膨大な時間や労力が必要であることを事前に講話していただいた後の作成だったため、生徒たちの関心を高める活動になった。



1年生の家庭科（保育の学習）では、幼児のおもちゃ作りで牛乳パックを利用したブーメランを作成し、実際にとばして安全性などを確認できた。地元の保育園で園児と共に遊び、プレゼントすることができた。



4 成果と課題

(1) 成果について

- 新たに活動を考えるだけでなく、既存の活動や行事と SDGs の目標を結び付けることで、無理なく活動することができた。
- 4 R活動の個人実践発表会を実施したことで、続けていきたいと考える生徒や、自分もやってみたい、協力したいと考える生徒が増えた。

(2) 課題について

- 生徒会活動でゴミの計量をしているが、ゴミを量ることで終わってしまっている。ゴミの増減が目に見えて分かるように、グラフ化など結果の視覚化が必要である。
- 学校や家庭で実践していることについて、ホームページや校内の掲示だけでなく、広く地域に伝わるように、校外へのポスター掲示やリーフレット作成などができるとうい。

学校名：小林市立紙屋中学校

住 所：小林市野尻町紙屋1754番地

電話番号：(0984)46-0109

E-mail：kamiya-jhs2@miyazaki-c.ed.jp